

九大病院だよりは患者さん向けの広報誌です。ご自由にお持ち帰り下さい。

## 年明け世界初の 遺伝子治療を開始

国産のウイルスベクター（遺伝子の運び役）を使って、血管閉塞による重症の血行障害に対する治療が九州大第二外科グループ（総括責任者・前原喜彦教授）で、年明け早々にも始まります。すでに、厚生労働省の厚生科学審議会科学技術部会で10月に臨床研究計画の了承を受け、具体的な治療計画を提出して許可を受けることにしています。これは国産の遺伝子治療技術を使った世界でもはじめての試みとして期待されています。

この治療はセンダンウイルスベクターを使い、新しい血管を作る作用を持つタンパク質「FGF2」の遺伝子を組み込んだベクター溶液を患者さんの脚に20～30カ所注射して新生血管ができるようにするものです。このセンダンウイルスベクターは九州大病理病態学の米満吉和助教授が開発、安全性と高い導入効率があることを立証済みです。

動脈硬化で手足の動脈に狭窄や閉塞が起こる閉塞性動脈硬化症は、高齢化時代、食生活の欧米化、車の発達などで60歳から70歳の男性に多い病気ですが、最近では若い方や女性にも増加していると言われます。その原因は喫煙、高血圧、糖尿病、高脂血症などがあるようです。

これまでの治療法は内科的治療法と外科的治療法があり、内科的治療法は薬物療法が中心で、外科的治療法はバイパス手術などの血行再建術が一般的でした。しかし、重症の場合は足を切断することも少なくありませんでした。九大病院でも年間5～10例程は血行再建術ができずに切断というケースがあり、患者さんにとっては悲劇でした。今度の遺伝子治療法はこれまで血行再建術を行わずに切断となっていた患者さんに新しい血管をつくるという画期的な治療法で、実施責任者の小野原俊博・消化器・総合外科講師は「患者さんにとっては朗報になるでしょう」と言っています。



## コラム

### これらの職種ご存知ですか？

2年前の医科、歯科、別府の病院統合と同じ時期に12の職種で構成された医療技術部が新たに設置されました。比較的新しい職種もその中にありますので、全ての職種の役割をご存知ないかもしれません。患者様と直接あるいは間接的に接する職種ですので、その一端をご紹介します。

臨床・衛生検査技師は血液等の検体検査、細菌検査、輸血検査や心電図・脳波等の生理検査等に従事しています。診療放射線技師は胸部・骨・血管造影検査、CT・MR検査、核医学検査、放射線治療等に携わっています。理学・作業療法士、マッサージ師は各種疾患に対する早期リハビリテーションを実施し、眼科では視能訓練士、耳鼻科・歯科部門では言語聴覚士、心療内科・精神科

医療技術部長 しんかい えいしゅう 新開 英秀

MESSAGE from Eishu Shinkai

経科では臨床心理士による各種検査・治療を実施しています。臨床工学技士は人工心臓装置の操作や血液浄化等の臨床技術支援業務や医療機器の管理等を行っています。歯科衛生士は歯科医療をサポートし歯科予防、歯科保健指導等を、歯科技工士は歯やアゴの欠損部を修復する物品の製作、修理を行っています。

多くの職種は制定から30年以上の歴史がありますが、臨床工学技士は18年前に、言語聴覚士は8年前に制定された新しい職種です。何れの職種も医療スタッフの一員として、患者様に満足される医療を提供するために努めて参りますので、今後共よろしくお願い致します。



九州大学病院泌尿器科はその前身である皮膚病学梅毒学講座が明治39年に開設され、大正13年7月7日にわが国公立では最初の泌尿器科学講座として新設され今日に至っております。現在は先代の熊澤淳一名誉教授の跡を継いで、平成10年より5代目の内藤誠二教授が教室を主宰いたしております。

私たちの科では泌尿器科領域の悪性腫瘍の診断治療を診療の柱として扱い、病気の進行段階に応じた適切な治療法を確立しております。癌の早期発見に努めるとともに、癌種に応じて手術・化学療法・放射線療法・免疫療法などの治療法を組み合わせ癌の根治を目指しています。また患者様のQOLを重視した低侵襲治療として腹腔鏡等を用いた鏡視下手術をいち早く導入しており、副腎摘除術においては第一選択の手術となっております。また腎癌に対する体腔鏡下根治的腎摘除術においても従来の開腹術と同等の手術成績を認めており、今後も益々増えていくものと思われまます。他の低侵襲治療として前立腺肥大症に対するレーザー治療や女性の腹圧性尿失禁に対する防止術等も行っています。

最近のトピックとして、H17年3月より九州で初めて早期前立腺癌に対する<sup>125</sup>I 永久挿入密封小線源療法を放射線科と共同で開始し、現在九州全域より患者様が集まってきております。また当科で施行している先進医療として、進行腎癌に対する樹状細胞を用いた腫瘍特異的免疫療法があります。これは患者様ご自身の癌抗原を樹状細胞に提示させた上で生体内に戻す治療で、患者様に十分にご説明させていただき、ご同意を得た上で行っております。

このように通常診療から大学病院の特性を生かした先進医療まで、幅広い診療を行っておりますので、御気軽に当科外来を御受診ください。

(泌尿器科 科長 内藤 誠二 医局長 江藤 正俊 TEL:092-642-5615)

## 特集 インフルエンザ

### 特徴・診断

インフルエンザと普通のかぜとを同じと思っておられる方も多いようですが、インフルエンザはインフルエンザウイルスに感染した場合の病気で、感染者の80%以上は発熱、頭痛、筋肉痛で、全身倦怠感が強いのが特徴です。今まではこのような症状から診断し、対症療法しかなかったのですが、近年、迅速診断キットおよび抗インフルエンザ薬の開発も行われ、インフルエンザに対する医療が急速に進歩しました。診断としては2002年から鼻咽頭ぬぐい液を用いて、外来でも簡単にできる(所要時間10-25分)ようになり、その信頼性はウイルスが呼吸粘膜で最も増殖している発症後48時間以内では80%以上で、迅速に正確な診断がつくため、的確な治療ができるようになりました。

### 治療・予防

治療としては3剤の抗インフルエンザ薬が使用されており、一つはアマンタジンで安価ですが、A型インフルエンザしか効果がなく、また、中枢神経系および消化器系の副作用が出現すること、および服用者の30%に耐性ウイルスが出現することが問題となっています。残りの2剤は、新たに開発されたノイラミニダーゼ阻害剤で、経口剤のオセルタミビルと吸入剤のザナミビルです。これらノイラミニダーゼ阻害剤はA型およびB型インフルエンザに優れた抗ウイルス活性を有し、種々の亜型に有効であることが証明されています。副作用は殆どないとされていたのですが、脳神経症状が最近報告されています。インフルエンザの合併症として脳炎・脳症を発症することもありますので、薬剤の副作用かどうかは今後の検討を待たなければならないと思います。予防としての第一選択はワクチンで、特に高齢者ではインフルエンザによる肺炎などでの死亡率も高いことから、高齢者介護施設の入所者や医療従事者への接種が推奨されています。

### 鳥インフルエンザと治療・予防

インフルエンザウイルスはA、B、C型がありますが、臨床的に重要なのはAおよびB型です。ウイルス表面の蛋白としてヘマグルチニン(H蛋白)とノイラミニダーゼ(N蛋白)とがあり、A型にはそれぞれHは1から16まで、Nは1から9まであり、その組み合わせで、1918年(当時の人口18億)世界で2300万人が感染し、38万人が死亡したとされるスペインかぜH1N1があったり、現在流行しているソ連かぜH1N1、香港かぜH3N2などとなります。もともと渡り鳥であるカモがA型インフルエンザの媒介動物で、それが生育する地域特有のHとN蛋白が組み合わさったウイルスに感染しており、しかも無症状で各地に飛来し、腸管で増殖したウイルスをその糞に排泄し、それが感染源となりニワトリなど他の動物に感染させていると考えられています。すなわち、今まで人類に流行した全てのA型インフルエンザはもとは鳥インフルエンザです。このうちウイルスの表面蛋白のヘマグルチニンがH5かH7の場合、ニワトリに対して毒力が強く高病原性鳥インフルエンザと呼ばれています。アジアのニワトリに流行し、ヒトにも感染しその死亡率も高いのがインフルエンザH5N1です。このウイルスに対して我々は免疫がないため人類での大流行が考えられています。治療としては上述したノイラミニダーゼ阻害剤の早期投与で治癒可能とされていますが、予防対策としてはワクチンは開発中であるためスペインかぜ流行時と同じようにマスク、うがいなどに頼らざるを得ません。したがって、高病原性鳥インフルエンザ発生に関する報道には十分に注意を払っていただきたいと思います。

(総合診療部 部長 林 純 TEL:642-5908)

## 絵本とおはなしの会

# ボランティア活動

私達は、九大病院小児科病棟で絵本の読み聞かせやお話をさせていただいています。

会の名称「へんへん」は、めんどりおばさんという意味です。私達の会にぴったりと思ひみんな決めました。

子供達と時には、わいわいがやがや、時には、静かに神妙に絵本やお話で楽しいひとときを過しています。

私達は、ほかに図書館や公民館でも読み聞かせをしています。どこに行ってもどこの子供達も、お話が好きです。明るい笑顔と暖かな楽しいひとときがそこにはあります。

また、一緒に参加して頂く親御さんには、これをきっかけに親子で絵本やお話に親しみ楽しい一時を持っていただきたいと思っています。

私達も、九大病院の子供達の笑顔に会えるのを楽しみにボランティア活動を続けたいと思っています。

長 ますみ



## 診療報酬

診察・検査・治療などの医療行為・医療サービスは、健康保険制度の中で、診療報酬として決められている。公定価格である。たとえば、初診料（病院）250点、（診療所）270点、抹消血液一般検査27点などなど、1点は10円。いくつかの項目をまとめて価格が決まっている（まとめとっている）ものもある。総額は政府・与党で決められ、細部は厚生労働大臣の諮問機関である中央社会医療協議会で審議される。協議会は支払い側、診療側、公益、専門委員から構成されるが、実際は厚労省と日本医師会との政治折衝で決まることが多い。

（九州大学医療経営管理学教授 西岡 和男）

## 歯科医療センター

# 福岡親子の会「つばさ」と九州大学病院口唇口蓋裂クリニック

口唇口蓋裂クリニックは平成17年10月30日に大宰府政庁跡で、福岡親子の会「つばさ」の第13回定例会レクリエーション会を行いました。156名というたくさんの参加がありました。福岡地区の口唇口蓋裂の患者さんとご家族そして医療スタッフの交歓会です。

みんなでゲームを楽しんだり、ご家族を4グループに分け懇談会を行ったりしました。懇談会では各グループに医師・看護師などが加わり、育児・社会生活・治療における悩みや医療体制に対する注文など、たくさんのご意見をいただきました。また、先輩お母さんから若いお母さんへの体験アドバイスもあったりして、有意義な機会だったと思います。天高く快晴の草の上で、梅が枝餅や弁当を食べ、ご家族同士友好を交えられたと思います。今後、お母さん同士がお互いに話し合うことができるし、さらに子供対同士の連絡が取れ悩みを相談す

るきっかけになればこの上ない状況だと思います。

毎年1月には勉強会ということで、医学部同窓会会館で口唇口蓋裂・育児に関する講演会も開催しています。皆様のご支援をお願いします。

ご興味のある方はホームページ（<http://www.dent.kyushu-u.ac.jp/tsubasa/index.html>）もご覧になってください。

口唇口蓋裂クリニック世話人

口腔保健科 鈴木 陽（電話 642-6460）



# 別府先進医療センター

## 療養病床の設置について

別府先進医療センターでは、平成18年度より療養病床の設置を計画しています。療養病床とは、一言で言えば長期入院療養を行うのに適した医療制度のことです。

当センターの前身である温泉治療学研究所以来培ってきた副作用の少ない患者様に優しい医療というテーマを発展・実践する一環として、また、慢性期に入り長期の入院療養を必要とする患者様や、疾病・手術等によりADL（日常生活の活動度）の低下した患者様のADLを向上させ、QOL（生活の質）を高めるために長期のリハビリテーションを必要とする患者様のニーズにお応えするためのものです。

医学の領域ではゲノム（遺伝子）研究も軌道に乗りつつある今、次世代の研究分野として旧国立大学病院では、初の試みとなります。

皆様もすばらしい眺望の病棟で別府の温泉に浸かりながら湯治感覚で療養を行ってみませんか。

（九大病院別府先進医療センター TEL：0977-27-1600）



病棟からの眺望

お知らせ

患者さんが癒されることを願って、南棟2階ホスピタルストリートに絵画、写真等を掲示いたしております。作品を掲示いただける方がございましたら、患者サービス課（電話642-5981）までご連絡いただきますようお願いいたします。



## 外来診療日一覧

お尋ねは、下記の診療科等に直接お電話願います。午前中は大変込み合い、電話がかかりにくい場合があります。予めご了承下さい。（市外局番は「092」です）

科名(初診受付)	初診日	再診日	科名(初診受付)	初診日	再診日	診療施設等	電話番号
1 総合診療部 (642-5300)	月～金	月～金	1 第二外科 (642-5479)	月・水・金	月・水・金	救急部受付	642-5873
1 内科(初診) (642-5300)	月～金	月～金	1 整形外科 (642-5504)	月・水・金	金	時間外受付	642-5163
2 内科(再来) (642-5302)	月～金	月～金	2 脳神経外科 (642-5533)	月・水・金	月・水・金	総合外来受付	642-5138
1 臨床遺伝診療部 (642-5421)	月～金	金	2 心臓外科 (642-5565)	月・水・木	水・木	入院受付	642-5149
1 先端分子細胞治療科 (642-5996)	月～金	月～金	2 小児外科 (642-5578)	月・水・金	月・水・金	公費申請受付	642-5167
2 心療内科 (642-5335)	月・木	火・水・金	2 皮膚科 (642-5596)	月・水・金	火・木	地域医療連携室	642-5165
2 神経内科 (642-5349)	火・木・金	月・水	2 泌尿器科 (642-5615)	月～金	月・水・金	支払い窓口	642-5169
2 循環器内科 (642-5371)	月～木	月・水	2 精神科神経科 (642-5640)	火・木	月～金	リハビリ受付	642-5862
2 呼吸器科 (642-5388)	月・水・金	月・火・水・金	1 眼科 (642-5660)	月・水・金	月～金	医療相談	642-5914
2 産科婦人科 (642-5409)	火・木	月～金	2 耳鼻咽喉科 (642-5681)	火・木	月・水・金	在宅療養指導室	642-5185
2 産産母子センター (642-5900)	火・木	月～金	1 放射線科 (642-5705)	月・水・金	月～金		
2 小児科 (642-5430)	月～金	月～金	2 新鮮科産生科 (642-5719)	月・水・金	月・水・金		
1 先端理工学診療部 (642-5993)	月～金	月～金	別館 歯科医療センター (電話は各診療科へ)	月～金	月～金		
1 第一外科 (642-5453)	火・木・金	火・木・金					

※ただし、歯科麻酔科の初診日は月・水・金のみ。  
※○印の曜日は予約が必要です。

- 休診日  
土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
- 受付時間（窓口）  
8：30～11：00  
自動再来受付機  
8：15～11：00
- 外来玄関開閉時間  
7：00～18：00

### 歯科医療センター

- 受付時間  
初診  
〈窓口〉8：30～11：00  
〈口腔ケア・予防科の口臭クリニックは、火・木のみ〉  
再診  
〈窓口・自動再来受付機〉  
8：30～15：00  
〈矯正歯科は、  
8：30～16：00〉

注

- 予約がある場合はこの限りではありません。
- 再来の方でも、1年以上受診されていない場合には、初診の曜日・時間となる場合がありますので、あらかじめ受診科「外来」にお確かめ願います。

病院にお越しの際は保険証をお忘れなく！

※保険証の提示がない場合には、保険の取扱いができません。

（代表）092-641-1151

〒812-8582  
福岡市東区馬出3丁目1番1号

携帯電話からも九大病院ホームページの診療案内・診療日案内・交通案内が閲覧できます。

アドレスは<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/hosp/>です。

ご意見・ご感想を電子メール（[ibskoho@jimu.kyushu-u.ac.jp](mailto:ibskoho@jimu.kyushu-u.ac.jp)）

または外来棟玄関の「ご意見箱」にどしどしお寄せください。お待ちしております！

POWER BY SOYINK R100

この印刷物は、環境にやさしい印刷技術を採用しています。  
印刷：2005年12月14日発行  
印刷所：株式会社ソイインク